

12月の行事予定

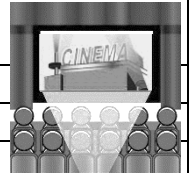
令和2年11月20日

◆授業参観・懇談会を終えて◆

10月14日の6年1組授業参観・懇談会を皮切りに、学級毎に実施した授業参観・懇談会が本日で終了しました。1年生にとっては初めての授業参観、3・5年生にとっては新たな学級・新たな担任になって初めての授業参観でした。コロナ禍での実施に際し、様々な御配慮（マスク着用、身体的距離の確保等）をいただき、ありがとうございました。

保護者の方に日常の授業の様子を見ていただきたいという思いから実施した参観日でしたが、子供たちにとっても価値ある時間となりました。通常とは異なる体育館での授業にも関わらず、いつもと同じように落ち着いて学びに向かう姿や、保護者の方に自分の頑張っている姿を見せようというも以上に張り切る姿などから、子供たちが保護者の方に見ていただく喜びを感じていることが伝わってきたからです。実施して本当によかったと感じています。今後も、社会の情勢を鑑みながら、子供たちのために価値ある教育活動を展開していきます。保護者の皆様におかれましては、これまで同様、御理解・御協力のほどよろしくお願いいたします。

日	曜	行 事 等	
1	火	●感冒調査開始	●乗入英語（5年）
2	水		
3	木		★会議（16：00～17：00頃）
4	金	●学年通信発行 ●ALT&乗入(5・6年)	●フィールド学生来校 ●学芸会保護者席抽選 ★会議（15：40～17：00頃） ●学芸会動画配信説明文書配付
5	土		
6	日		
7	月	●ALT（1・3年）	
8	火	●新入出願受付期間終了 ●感冒調査 ●スクールカウンセラー来校	●乗入英語（5年）
9	水		
10	木	●学芸会～附小ロードショー～（1・3・5年）	●イノバによる動画配信開始
11	金	●学芸会～附小ロードショー～（2・4・6年） ●ALT&乗入(5・6年)	●イノバによる動画配信開始
12	土		
13	日		
14	月	●学校評価期間（～21日） ●ALT（2・4年）	●アセス実施・面談期間（～25日） ●6年1組面接(集団討論)指導
15	火	●代表委員会	●感冒調査 ●乗入英語 ★会議（16：00～17：00頃）
16	水	●6年2組面接(集団討論)指導	
17	木	●スクールカウンセラー来校	
18	金	●食育の日（5年生） ●フィールド学生来校	●ALT&乗入(5・6年) ●学年通信発行
19	土	●附属釧路中学校入学選考	
20	日		
21	月	●ALT（1・3年） ●FMくしろ「COOL CHOICE」出前授業（6年：5・6h）	●冬休み図書貸出（～25日まで）
22	火	●感冒調査	
23	水		
24	木		★会議（15：40～17：00頃）
25	金	●児童委員会(6年生最終)	
26	土		
27	日		
28	月	●終業日 ●学年通信発行	●朝会 ●給食費・PTA会費引落日
29	火	●学校閉鎖	●冬休み開始（～1月11日まで）
30	水	●学校閉鎖	
31	木	●学校閉鎖	



[1月の主な行事]

- 1日（金）～3日（日）学校閉鎖
- 5日（火）附属小学校新入学選考日
- 6日（水）附属小学校入学選考合格発表
- 7日（木）附属中学校入学選考合格発表（附中HP）
- 12日（火）始業日
- 21日（木）北国タイム（中*低学年午前授業）
- 22日（金）北国タイム（高*低学年午前授業）
- 26日（火）CRT学力検査
- 27日（水）CRT学力検査
- 29日（金）親子一日入学（新入児童保護者対象）

附属釧路義務教育学校に向けて

過日配付し、現在 HP にて公開している研修動画「附属釧路義務教育学校に向けて」は御覧いただいたでしょうか。右の QR コードから御視聴いただけますので、お時間がある時にぜひ御覧いただければと思います。



令和3年4月からの義務教育学校に向けて、現在、附属小中の教職員で様々な検討を進めています。校舎はそのままです。スタートすることから、制服・ジャージなどは現状のままとなりますが、義務教育学校前期過程(1～6年)・後期過程(7～9年)として、9年間を見通した教育活動を展開していくこととなります。保護者の皆様や子供たちには、「何がどのように変わるのか」等、1月末～2月始頃に改めてお伝えする予定です。



附属釧路義務教育学校とは？

○ 義務教育学校とは

義務教育9年間を一つの教職員組織によって、系統性を確保した教育課程に基づいた指導を行い、教育目標の実現を目指す学校のことです。

○ 義務教育学校への期待

9年間一貫したカリキュラム・共通認識に基づいて指導がなされるので、行事を含めた様々な教育活動が一層系統的かつ効率的・効果的に行われるとともに、いわゆる「中1ギャップ」の緩和が期待されます。

また、人的配置も柔軟に対応できるようなることから、小学校における教科担任制による専門性を生かした指導や、中学校におけるきめ細かな指導技術の導入など、教育活動の充実も期待できます。

さらに、文部科学省の調査によると、「児童生徒の規範意識の向上」「異年齢集団での活動による自尊感情の高まり」「学力調査などの平均正答率の上昇」においても効果的であることが明らかになっています。

附属釧路義務教育学校では次のことを取り組みます

- 1 「いいとこみつけ」からの「個別最適化」(学びのユニバーサル・デザイン)
 - ・一人一人の子供の見取りを共有し、その子の特性に応じた手立てをとり、その子が自らの強みを発揮できるようにします。
- 2 「地域学」
 - ・地域の町内会、公共施設、前田一歩園財団、NPO等と協働したプロジェクトを開発・実践していきます。
- 3 へき地・複式・小規模校との協働
 - ・学び方や協働学習、異学年協働学習の育成方法を共有していきます。
- 4 リーダーシップ・フォロワーシップの育成カリキュラムの開発
 - ・各教科等の資質・能力の確実な育成と、自己の強みを影響力として発揮し、状況に応じて他者を支え協働する姿を目指して、カリキュラムを開発します。



「研究学校」「実証学校」「サービス・センター・スクール」を使命とした
地域のモデル校に